

 <p>ロータリーを 実践し</p> <p>みんなに 豊かな人生を</p>	<p>Rotary Club of Engaru, Area 4, RID 2500</p> <p>遠軽ロータリークラブ</p> <p>国際ロータリー 第2500地区 第4分区</p>	<p>2013~2014年度</p> <p>会報 第12号</p>
	<p>2013~2014年度 国際ロータリー第2500地区 葭本正美ガバナー:スローガン</p> <p>讃えよう 地域を! クラブを! 会員(自分も)を!</p> <p>ロータリーの出会いに感謝!</p>	
<p>本日のプログラム</p> <p>2013年10月 3日(木) 12:30 職場訪問例会 (株)エルム 職業奉仕委員会</p>		
<p>次回のプログラム</p> <p>2013年10月10日(木) 12:30 ゲスト卓話</p> <p>遠軽町役場丸瀬布支所長 小谷 英充 様</p>		

第2652回 例会記録:

- ・2013年9月26日(木) 12:30~ 遠軽RC通常例会
- ・司会: SAA 成田 弘明 会員 於: ホテルサンシャイン

☆開会点鐘 渡辺 政俊会長 ☆Rソング「それこそロータリー」

◇本日のゲスト

ライラセミナー参加者

エルム美容室 清水 正夫 様
 NPO法人遠軽町体育協会 赤塚 大介 様

会長報告 渡辺 政俊 会長

9月21日は「第34回 ロータリー旗争奪中学校野球新人戦」の開会式に参加してまいりました。

【写真等は(4)面に掲載】

当日は久しぶりに土日共に晴天となり気持ちのよい青空の中、熱戦が繰り広げられました。私が始球式で投げた玉は、みごとなフォークボールとなってベース前に落下しましたがキャッチャーの腕がよく無事ミットに収まる事が出来ました。優勝は遠軽中学校との接戦を制した、湧別と佐呂間中学の合同チームでした。【写真下】遠中と南中以外はすべて合同のチームとなっていたようです。

大会で何よりも驚いたのは子供達の数の少ないことです。45年前の遠軽中学校、全校集会では1200人程の生徒が体育館にあふれているような時代でした。教室は足りなく音楽室が私達のホームルームでした。その後自分の息子の時代になり随分と子供の数が少ないなと感じました。今ほどではありませんでした。

それから10数年、いまでは町内の全中学生の数が554名、遠軽町内以外では小中とも一学年10名程の少なさです。子供達は自分の学校だけでは、野球もサッカーも単独でチーム編成することもままならない様な現実、愕然とさせられているところです。

今月、ロータリークラブは「新世代のための月間」となっています。世界の子供達への奉仕も大切ですが、自分たちの身の回りの地方の少子化問題にも真剣に取り組む時代になっているのではと思っています。



【ライラセミナー修了証書を授与された参加者と会長】



【優勝旗を授与する藤田直前会長(9月22日)】

幹事報告

木村 一則 幹事

1. 釧路地区大会へはバスで往復移動します。
・集合時間/場所: AM6:00/町福祉センター前
1名が不参加になったため1名追加募集します。参加可能な方は今週中に木村まで連絡下さい。宿泊については来週連絡します。
2. 遠軽ライオンズクラブのチャリティーパーティには西副会長に出席して頂きます。
3. 本日例会終了後、理事会を行います。



第33回 ライラセミナー報告 [2013年9月21日~23日 於：名寄]



【開講式で主催者挨拶をする葦本正美ガバナー】



第33回ライラセミナーは名寄ロータリークラブがホストになり、9月21日(土)から23日(月)の3日間、なよろ温泉サンピラー他で開催されました。

今年度のテーマは「防災サバイバルプロジェクト」 あなたは生き残れるか～絆から連携へ～、サブテーマ『衣食住情情』。

テーマの通り、かつてない過酷なライラセミナーでした。以下、参加者の報告です。

ライラセミナー参加体験談と感想

清水 正夫 [エルム美容室] ②

この度ライラセミナーを受講した体験談と感想を報告させていただきたいと思います。

今年のライラセミナーのテーマ『あなたは生き残れるか？絆から連携へ』という事ですが、どうゆうことを行ったかといいますと被災を想定した演習について被災者と救援者の両方の体験をして災害への知識や対策など学ぶというものでした。

まず初日は、1日体育館の中で生活するという事でダンボールを使い仕切りを作ったり床が冷たいので敷きものにしたりと被災者の生活と避難所設営の演習などをおこないました。

食事はカンパンと非常食と水のみというとても過酷なものでした。非常食といってもとてもじゃないがおいしく食べられるものではなく、ほぼカンパンと水だけでしのぎ、夜は気温ひと桁になり冷たく固い床にダンボールをしき、薄い毛布をかけて寝ました。

聞いていた話では簡単なゲームをしたり話を聞いたりして夜はお酒を飲んでおいしいものを食べて宴会したりと聞いていたのですが、今自分がおかれている状況との差に困惑しながら体育館の天井を見上げながら、自分は一体ここで何をしているんだろうといろいろな感情が溢れてきました。

想像とかけ離れたセミナーの内容に若干憤りを感じながらもなんとか眠りにつきました。しかし、あまりの寒さと寝心地の悪さに何度も目が覚め、疲れをとるところか逆に精神的にも体力的にも疲れがたまりました。

今回は1日体験ということでしたが、東北の大震災の被災者の方々は避難所や仮設住宅で何ヶ月もの間生活をしていた事を考えるとぞっとしてしまいます。

2日目は情報収集の演習と避難所運営の演習をおこないました。

屋外でアンテナをたててBSを見る方法や災害情報をラジオで聞く方法などの演習をしました。

情報とは災害時にとても重要なもので確保しておかねばいけないものです。またネットでは正しい情報や間違った情報など世の中にはたくさんの情報があるので、自分でその中から正しい情報を選ぶ力が必要になります。

普段ラジオを聞いたりアンテナをたてる事もあまりないのでとても役に立つ演習でした。

1番難しかったのは避難所の運営でした。

ここで初めて被災者から救援者の体験と演習が始まりました。被災者では基本的には受け身の体勢でしたがここからは自分で考え行動していくこととなります。

実際に避難者が訪れ年齢や性別、体調なども様々で実際にありえる状況を想定し、どのように体育館を避難所として人や仮設トイレや設備を配置するかなどの運営を学ぶのですが、実際に場所によって避難所の配置などは異なりこれといった正解などはないようで、どこもクレームや不満等はなくなることはないようです。

今回のサブテーマに「衣食住情情」とあります。衣食住はそのまの意ですが、残りの情は情報の「情」、そしてこころという意味の「情」です。私たちは普段衣食住すべてが整った満たされた生



活を過ごしていますが、いざ災害に直面し被災者になった時、そして衣食住すべてが満たされなくなった時にとつともない恐怖に襲われる事になります。そのような時に大切なのが情報や思いやりのこころ、助け合うこころなのだと強く感じました。実際にこのセミナーでそれを少しながら体験する事ができました。

そして今まで自分が災害に対してどれだけ危機感がなかったか、知識がなかったかを痛感することになりました。

一生に1度あるかないかの被災をこのようなたちで体験できた事ととても幸せに感じています。そしてこれから自分には何が出来るのか、今できることは何だろうと考えるようになりました。

百聞は一見に如かずといいますが今回被災者の体験をしてみても驚くぐらい被災者や被災地に対する考え方に変化がでてきたことを感じます。

この体験を家族や知人に伝えていき、より災害に対して危機感や関心をもってもらうことが今自分ができることなのかと思えます。これからの人生にとつとも役に立つ経験と知識が得られたことをロータリークラブの皆様をはじめ、ライラセミナー関係者の皆様には感謝の気持ちで一杯です。

三日間貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。

備えあれば・・・を実感

赤塚 大介 [NPO法人遠軽町体育協会] ③

被災者・支援者の両方の立場を体験しました。置かれた現状を知ることによって生きるために必要なことを感じました。

体育館で夜を過ごし、ブルーシートだけでは眠ることも出来ない、段ボール1枚だけでもありがたいと思えます。毛布も1枚で夜は暖かかったが、未明から朝は寒いと感じました。

次は感じたことです。

- ・情報は必要だが、TVは消費電力が大きい(80w)。電灯はLEDだと20wで3日もつという。
- ・段ボールでのパーティション(区切り)は、プライバシーを守るところはいいと思えます。
- ・乾パンは口がパサパサしたけど食べられた。
- ・災害救助用炊飯袋「ハイゼックス炊飯」は泥水でもご飯が出来るすごさ。被災体験後、今の生活自体が恵まれていることを痛感しました。

右の写真は赤塚君が持ってきた防災グッズ。左が「災害救助用炊飯袋」、右上は広げると1m×2mの「アルミシート寝袋」、右下は5年間保存が利く「えいようかん」



ライラセミナーに同行して

新世代奉仕委員会 吉川 紘 委員長④

今年度のライラセミナーは、去る9月21日(土)～23日(月)の3日間、名寄で開催されました。

テーマは「防災」で、初めから終わりまで、防災に関する講義、演習、炊き出しの実習、グループ会議の連続で、宿泊は体育館に段ボールを敷き毛布1枚、食事は乾パンなど防災食と云うものであり青年たちにとってはかなり過酷なセミナーだったろうと思えます。

一方、我々ロータリアンは互いに交流を重ねながらの楽しい3日間でありました。

参加者は青年が34クラブから67人、ロータリアンが27クラブ49人でした。

遠軽から参加した清水正夫、赤塚大介両君には、このセミナーで学んだこと、体験したことを今後生かして行って頂きたいと思えます。

【名前後、役職名、文中の○数字は写真番号】

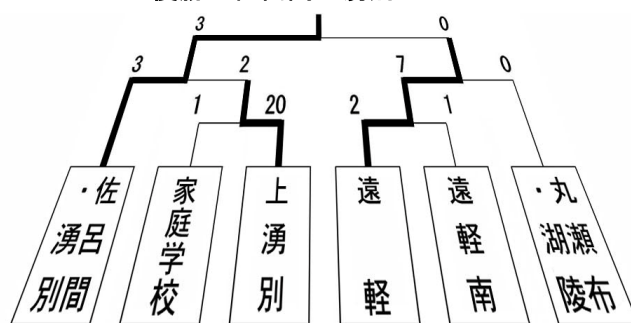


会長報告の通り、新世代奉仕委員会の中学校野球大会が9月21日～22日、遠軽地区教育委員会共催、遠軽地区防犯協会後援、遠軽軟式野球連盟主管、そして遠軽町立遠軽中学校が当番校となり、えんがる球場で行われました。

写真上は優勝の佐呂間・湧別チーム（左側）、準優勝の遠軽チーム（右側）と記念撮影。写真⑤は開会式に出席の会員、右端が平出寿遠中校長。写真⑥は始球式で渡辺会長、渾身の一球を投ず。



優勝 佐呂間・湧別チーム



ニコニコ BOX 親睦活動委員会 遠藤 利秀 委員長

藤田 禮三 会員 ノーバッジ 1,000円
累計 155,000円

出席報告 出席委員会 竹内 徳治 委員長

例会日	会員数	出席計算 会員数	出席者数	メイク アップ	出席率	無断欠席
9月19日	35	31	24	2	83.9%	
9月26日	35	31	27		87.1%	

☆ 閉会点鐘 渡辺 政俊 会長
☆ 今月会報担当 上田 稔 委員

URL : engaru-rc.com

遠軽ロータリークラブ 創立1959年9月12日 認証1959年11月7日

◆ 〒099-0415
北海道紋別郡遠軽町岩見通南2丁目
遠軽商工会議所内
Tel 0158-42-5201 Fax 42-5134
E-mail re1959@engaru-cci.or.jp
◆ 北海道紋別郡遠軽町大通北1丁目
ホテル サンシャイン
Tel 0158-42-1151 Fax 42-1151
毎週木曜日 12:30～13:30
第3木曜日は夜間例会(18:00～19:00)

会 長 渡 辺 政 俊
副 会 長 西 田 清 治
会 長 以 外 上 田 稔
幹 事 木 村 一 則
会 計 遠 山 博 明
S A A 成 田 弘 明

編集・発行 メディア委員会
委員長 海 野 功
委 員 石井定男(7・8月)
上田 稔(9・10月)
棚橋 忠(11・12月)
西 清治(1・2月)
東海林勉(3・4月)
中川満之(5・6月)